

**平成 28 年度「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」(地域会議)
1 対 1 対談 (大紀町) 会議録**

1. 対談時間

平成 28 年 11 月 10 日 (木) 10 時 00 分～11 時 00 分

2. 対談場所

滝原公民館 1 階 多目的室 (度会郡大紀町滝原 1030 番地 1)

3. 対談市町名

大紀町 (大紀町長 谷口 友見)

4. 対談項目

- 1 産業振興の推進について
- 2 「人の命は何よりも大事 子供は町の宝 お年寄りには町の誇り」
防災・減災対策の推進について
- 3 「人の命は何よりも大事 子供は町の宝 お年寄りには町の誇り」
少子高齢化対策の推進について

5. 会議録

(1) あいさつ

知 事

皆さん、おはようございます。また、谷口町長におかれましては、きょうも大変お忙しい中、お時間をいただきましてありがとうございます。

3 日早いですけども、谷口町長、誕生日おめでとうございます。11 月 13 日に何歳かというのは私からは言いませんが、誕生日を迎えられるということで、大変めでたいタイミングでここに来させていただきまして大変うれしく思います。谷口町長には、町村会会長として三重県全般そして全国の町村をリードしていただいております、大変感謝をするところであります。

また、大紀町の皆さんにも本当に県政、様々お世話になっておりまして、ありがとうございます。約半年経ちましたが、5 月に伊勢志摩サミットがあったときも、大紀町の皆さんにクリーンアップ活動や花いっぱい運動などたくさんお手伝いいただきましたし、大内山牛乳も総理夫人主催の昼食で使われたり、大紀町の小学生に首脳神宮での植樹を手伝ってもらったりとということで、大変いろいろお世話になりました。本当にありがとうございました。

それから、今年はリオオリンピック・パラリンピックがあつて、スポーツが盛り上がりました。今度、2020 年には東京オリンピックがありますし、

その翌年は三重県で国体があります。ですので、三重県もこれから大いにスポーツを盛り上げていかなければいけないんですが、この大紀町出身の阪本君が、水泳のバタフライで、今年8月にハワイで開催されたジュニアパンパシフィック水泳競技大会に日本代表で出場して、見事銀メダルを獲得しました。これから阪本君は活躍すると思いますので、ぜひ大紀町の皆さんで応援をしていただければと思います。

きょうは限られた時間ですが、大紀町の皆さんがこれからも頑張っていると思っていただける、そんな時間にしたいと思いますので、どうぞよろしく願います。きょうは、どうもありがとうございます。

大紀町長

皆さん、おはようございます。鈴木知事におかれましては、公務大変お忙しいところ、我が町大紀町にお越しいただきましたことを、町民の皆さんともども、心から歓迎申し上げます。

知事は知っているのに少しとぼけていますが、10年取って67歳です。10年取りましたので。喜寿を迎えます。今が旬の谷口友見ですので、よろしく願います。

(2) 対談

1 産業振興の推進について

2 「人の命は何よりも大事 子供は町の宝 お年寄りや町の誇り」 防災・減災対策の推進について

3 「人の命は何よりも大事 子供は町の宝 お年寄りや町の誇り」 少子高齢化対策の推進について

大紀町長

それでは、知事さんに聞いていただきまして、服部三重県地域連携部長にも日ごろからお世話になっておりますし、大西地域連携部次長、渥美南部地域活性化局次長そして総務省から来られている保科地域連携部市町行財政課長にも、日ごろ、我々三重県町村会また市長会も併せていろいろとお世話になっております。

そういうことで。課題について、報告がてらお願いがてらのことであります。伊勢神宮の元宮とも言われており、今は14か所ほどある別宮の中でも、一番遠いところにある滝原宮に背を向けて座っているのは大変心苦しく思いますが、勇気を持って知事に御要望をさせていただきます。

まず、1つ目の課題としまして、農林水、商業も含めて打つ手なしと日本中の田舎が困っているように、我々も弱り切っております。特に人口減、

少子高齢化の中で働く場所がない、すなわち「まち・ひと・しごと」といわれておりますように、政府のほうも、ありがたいことではありますが、地方創生に力をどんどん入れてくれるだろうと期待をしているものの、思うに任せずというところでは、特に後継者不足、それと、国が進める輸出というところでは、うちの猫の額のような農業で平均で5反、1町歩、2町歩というようなところが数少ないのが、三重県の状況であります。当然、我が町大紀町も同じです。

そういったことで、できる限り、この8年間で獣害防護柵で62キロ、農道で23キロぐらいはほとんど整備が完了しました。林道でもかなり進んでいます。これもひとえに町議会の皆さん、そして、区長さん方をはじめとする地主の方々、そういった方たちの協力があったからこそできたことです。それに一つひとつ、林道も農道も獣害に対しても、国・県の補助を入れさせていただいて助けていただいていたことで。

特に水産業も林業も衰退をしています。これも農業と同じように後継者不足が一番大きな現状であろうかと思えます。そして、林業についても、今はもう地方創生の役もみずから退かれたようですが、石破茂先生が自民党の幹事長当時に、自民党本部に全国の役員の1人として出席させていただいたときに、石破先生から、林業を育てるには国産材を使うべきということで、8階建の木造の建物もできる技術が世界中に広まっているという話があったので、私から「なんとかそれを実現して、1割でも2割でもよいので補助を出してでも、三重県の場合ですと、全国そうなんでしょうが、各国から大変重宝がられているヒノキ、スギなど、良質な木材を量産しています。戦後植えてももう70年は経っており、切る木が旬になっている」というようなことを申し上げたら、「頑張りましょう」と。石破先生から、地方創生でもそういう話は聞きましたが、お金が要ることですので。これについても、林業、大きな山を持っている方たちには小さな灯かなと思っています。期待もしています。地方創生ももう少し成長すれば、そういった話も政府から出てくるだろうし、鈴木知事さんからもそれも進言をしていただきたいと思えます。

先ほど知事に了解をいただきましたので、2番、3番についてもまとめて先に申し上げます。

福祉関係ですが、紀勢町当時から「A B C D作戦」というをずっとやっていた。これで6年になります。就任早々から「子どもは町の宝 お年寄りも町の誇り」ということで、AはAngelのA、僕が作ったんです。BはBears、小熊。子どもはかわいらしいでしょう。子熊が。そして、C、これは失敗しました。「キューピットではないけれどみんなに幸せあげたいな」という歌がありました。僕の若い頃に。皆さん、知つとる方もおる

かと思いますが。それで、Cは、「出しゃばりおよねに手を引かれ」という紀勢町の町長のところに議会で歌ったことがあります。当時の町会議員は20人ぐらいの大所帯でした。そういうことで認めていただいたんですが、「出しゃばりおよね」という、御存命の方も錦や柏崎におられますので、心から尊敬している「出しゃばりおよねさん」を5人ずつ選抜して、ずっと5年間頑張りました。「今年こそ3組成立するな」、「今年こそ」と期待はしたものの、彼女たち10人でいろいろ出合いをやっていただいたんですけども、1組のペアも誕生しませんでした。お金も少しかかりますので、年間100万円ぐらいずつ。当時も今もそうですが、大紀町も同じですが、財政がひっ迫してくるとあかんということで、涙を流しながら撤退しました。今はもうそういうことはやっていません。何か商工会あたりでいろいろな方がいろいろやっていただいと聞いていますので、期待しております。これは民間に委ねたほうが、行政が手を出すことではないなど、当時、そう決めました。

Dは、お年寄りには町の誇り、Dream、夢を見ながら歳を加えていただくと。元気に彼の国に旅立つと。僕もその予備兵ですけども。そういうことで、この2点について、「子供は町の宝とお年寄りには町の誇り」を大事にと。

そういうことで、Angel だけはもう4までいきました。その中身は、エンゼル1手当として、子育て支援手当で、第一子、第二子が10万円、第三子は30万円、第四子は50万円、第五子以上、男女を問わず5人目の赤ちゃんが生まれると、6人7人と5人以上は100万円というのを27年からしました。実績を報告しますと、5人目は1人もまだ100万円はないんです。期待していますけど。27年度は、3人目が2人と4人目が2人。4人だったんです。今年は、10月末で、4人目の50万円が2人。3人目が8人。あわせて10人で2.5倍。あす、あさっても交付があります。3人目が2人おりますので。町長室で交付して写真を撮ります。

そういうことで、うまく当たったかなど。これは100万円も50万円もというけど、交付税という言葉聞いたことあると思います。これは初めて言いますけども、町民の皆さんに。1人増えると、年間30万円入るんです。ですから、年寄りの方は1年でも長生きを元気でしてほしいんです。子どもたちのために。子や孫やひ孫のために、1年でも元気に暮らしていただいて健康に生きていただいたらと。30万円もらうと、第三子は30万円で、1年で元を取るんです。町財政を圧迫することやないんです。旦那さんが来ると、次のお子さんもと言うと、そのときは、「お母さんに町長から頼んで」と。「そんなことではあかんで、2人で相談して、子どもは多いほうが強い子どもになるで」と。

そういったことで、平成27年は1年間で4人が、今年は10月末で10

人です。今からまだ生まれるかわかりません。そういうことで、ちょっと効果が出たので、町民の皆さんに顔向けができるかなと。

それと、あとのエンゼル2のほうは、保育園、小中学校、エンゼル1は908人対象者ですが、エンゼル2のほうは708人で、2,976万円。エンゼル1のほうは2,850万円ぐらいかかりますけども、予算としてエンゼル2手当の場合は予算で2976万円です。これは給食費を8割、町で持っています。なんで2割ぐらいという町会議員もおりますけど、それはやっぱり自分の子どもは夫婦で育てるという意味で、全部行政がもつというのはいかがかなという自分の考えで、議会の皆さんにも議決をいただいてスタートしています。

それと、エンゼル3は、通学先がいろいろありますから、南北にうちは50キロぐらいありますので、最寄りの駅が違うんです。松阪とか伊勢の範囲で、四日市もあるし津高校に行く子もありますけども、高校生に対して50%の補助をしています。

エンゼル4のほうは、一人親家庭の児童の放課後児童クラブの利用料の補助で、50万円ぐらい、13人ぐらいに、1人に月3,000円ぐらいで100%みさせてもらって、去年からやっています。

そして、このエンゼル3の中には松阪とかそういうところのマンションや寮などに入る子も多いんです。もう通う子は50%。そういう子たちにも年額で3万円ずつ。1人が下宿したりそういうところに住むと、大体6万円とか8万円ぐらいが相場だそうです。それで、その半分ぐらいの3万円を助成しております。対象者は100人ぐらい。1、2、3年生、大体それぐらいです。

ベアーズのほうは、子ども児童の医療費補助として940名が対象者で2,226万円。これは全部医療費が無料で、100%みえています。子育て世代はまだまだ給料が少ない。全ての子どもを育てるのに大変ですわ。僕はもう孫も10人、ひ孫も3人おりますので、よくわかるんですわ。そういうことでも、これは100%で940名に、2,200万円。そうしています。

それで、ベアーズ2として不妊治療費助成金を設けまして、去年から。今までは一般不妊治療で1万円でした。女性は特定不妊治療で10万円。そして、男性も5万円。大体対象者は年に4人ぐらいだそうです。26万円。この部分は全部、鈴木知事が提唱していることで、県からもその中で半分ぐらいは補助をいただいています。ありがとうございます。これからもまたやめないで補助をストップしないで、これだけは、大紀町だけではなくて三重県でよろしくお願いします。他町村も皆喜んでおりますので。

それと、ALTといって、知事が得意な英語ですが、大体うちの規模の生徒数ですと、2人ぐらいです。それを今年28年度から3人に増やしまし

た。これからの子どもは、都会にいても地方の企業に就職しようと思ってもABCぐらいは覚えておかないと。僕みたいでもABCまで知っているだけです。そういうことではいけないという考えから、やっぱり投資を。すぐには芽が出ませんが、これからの大紀町を背負って立つ宝たちに投資をするという意味からも、そういうことで3人に増やして。前はカナダ、オーストラリアもいましたが、今回は3人とも全部立派なアメリカ人の女性で、日本語も達者です。僕も3人とも会いましたけど。僕だけ英語がわからないだけで。それで全校生徒対象で、小学3年4年は1週間に2回ぐらい。そして、1、2年生も月に2回ずつやるとということです。高学年の5、6年生は週に1回、月に4回ぐらい。そして、中学生は、2人ぐらい来て徹底的にやります。わずかなんですわ、お金は。ALT3人で1,186万円、1名増やして3人で。ですので、1人370万円ぐらいで1,200万円あればできるわけですので。そういうことで、これからももう1名ぐらい増やして。やっぱり3人のALTに負担が大きすぎてもいけないので、ちょっと増やしてさらに充実したいと思います。

ドリームは1,200万円ぐらいで、月に3万円ずつ、在宅の中度以上の寝たきりまたは認知症老人等の介護への助成ということで、正式には、「寝たきり老人等介護手当」として月に3万円ずつ生活の足しにさせていただきたいというようなことで。ランチタイムも2回を3回に増やしたり。これは女性のサークル活動の皆さんのおかげです。高齢者の支援サービスの配食を行っていただいております

このような経費は寄付とかそういうもので、ふるさと納税とかを充当してこういうABCD作戦に全部、その寄附者の方たちが、福祉向上のために教育のために使ってくれという要望もありますので120%、これ、うちも一般会計から20%ぐらい入れて。だから、町民の皆さんあまり心配しなくても、皆さんの税金はきれいに効果のあるように使わせていただいておりますので。

防災は、10月25日でしたか、新聞で読ませていただきましたが、鈴木英敬知事が、全国知事会の危機管理・防災特別委員長に就任され、おめでとうございます。もう得意なところですから。知事会をまとめてもらったら、国も、我々町村会では力不足ですので、僕らも応援しますので、市長会も応援するようにしますので、ひとつ頑張ってください。

以上です。

知 事

ありがとうございました。

今、谷口町長から、農業や林業、水産業のお話、それから、子どもと高

齢者の皆さんの支援のお話、それから、防災のお話がありましたので、残りの時間をいただきましたので、その残りの時間で僕から少し説明したいと思います。

町長は、ああやって謙遜されて例えば産業の打ち手なしとおっしゃいましたが、今から、大紀町と県が連携したり、あるいは、大紀町で国の事業を使っただいてそれを県がお勧めしたりして、一緒になってこういう手を打ってきていますよという話を少しさせていただきたいと思います。

まず、最初に、農業、林業のところで担い手不足というお話を町長から言っただきましたが、それにつきましては、青年就農給付金という、新たに農業をスタートしたときに、その人が若い青年世代だったらその給付金がもらえるという制度があるんですが、大紀町では、キノコ栽培の人が去年からそれを活用してもらっています。

それから、新規就農者フォローアップ短期研修という、就農してみたが、やってみたらいろいろ悩むこともあるので、そういう人を後でフォローアップして支援していこうという研修をやっていますが、それについても水田と有機農業の関係で、大紀町から50歳代男性が参加していただいています。

それから、最近、6次産業化といひまして、1次産業で生産します、2次産業でそれを加工します、3次産業で販売します。1+2+3か1×2×3かわかりませんが、これを6次産業というんですが、6次産業化、要は作物を作って終わりではなくそれを加工して販売して、より利益を得ていこうという取組ですけども、これの人材育成の研修にも大紀町から参加するようにということで町長進めていただいて、今、研修を受けていただいております。

このように、担い手不足に対して、新しく農業を始めた人がきちんと一定の収入を得ているということが伝わっていくことが、次の私も農業にチャレンジしようということにつながってくると思いますので、今申し上げたような新規就農者とか新しいチャレンジの人たちを人材育成していく、人を育てていくということをお大紀町さんで進めていただいて、県のそういう研修などに来ていただいています。

それから、農業をやるために用排水路や、先ほど農道や林道の話もありましたが、農業の基盤が大変重要です。大紀町では、用排水路や耕作道など基盤の整備をしっかりといただいています。おかげさまで、去年と今年、国からその農業の基盤整備のお金は結構ひいき目にいただいております。特に農業の基盤整備で防災に関係するところがたくさんありますので、おとといでしたか、僕のほうからも自民党の二階幹事長に、「防災のため池が老朽化しているので、それを整備するための予算をよろしくお願

いします。」ということと、また、ため池については、小さい規模ですと国の負担が50%、県の負担が35%、地元の負担が15%になっていますが、大きい規模ですと国の負担が55%になっていて地元負担が軽いんです。三重県には小さな規模のものがたくさんあるので、小さいものほど地元負担が大きいということで、これは大変ですので、「南海トラフとかも懸念がある場所ですので、そういう部分は国の負担を嵩上げて、地元の負担が軽くなるようにしてくれませんか」というようなお話をしてきたところです。

それから、獣害対策ですが、これは僕が知事になったときに、農林水産業の被害額が、サルで全国2位、シカで7位、イノシシで4位で、農林水産業全体、県全体で約8億円の被害があったんですが、それを直近では5億円ぐらまで落としました。獣害対策課が三重県にはあるんですが、こういう名前の課があるのは全国で三重県と高知県だけなんです。

それぐらい獣害対策に取り組んできたんですが、中でも大紀町は獣害対策にかなり積極的に取り組んでもらっています。侵入防止柵、柵をまず張り巡らせるとというのが一つの重要なことなんです、県内の中でいち早くその侵入防止柵の整備を完了してもらいましたし、今年度も5つの集落で獣害対策のための組織化を県と一緒に進めてもらっています。で、基本的にシカやイノシシなどを捕獲するのは市町の役割だったんですが、やっぱり獣害が大変なので、去年から県も特別な場合は捕獲してもいいということを経験で認められましたので、県は、大紀町と大台町の境のところを、大台町や大紀町と一緒に三者で捕獲するようにしています。あと、今年度は、大紀町内のJR紀勢線の周辺で、シカ270頭の捕獲を目標として、大紀町と一緒にやっています。

これも大紀町さんがずっと、谷口町長はじめ獣害対策を一生懸命やってきていただいたおかげです。特にサルについては県全体で結構困っているんですが、大紀町は電気柵をうまく使ってサルが減少しています。そういうようなことで、県と一緒に獣害対策をやっていただいております。

それから、林業については、県の中でも早くから林業機械を取り入れていただいて、さっきの石破さんがつくった地方創生の交付金を使って丸太の検収システムを大紀森林組合で導入してもらって、新しい技術の先進的な取組をやっていただいております。そういうので林業のコストを下げ、利益を上げる、そういう取組をいただいております。

林業では、こういう間伐材などを売っていただくのではなくて、A材といわれる本場にちゃんとしたヒノキの丸太などが売れていかないと利益にならないので、三重県も、そういうA材がしっかり売れていくような取組を今頑張っていますので、大紀町の皆さんと連携していきたいと思っております。

それから、水産業については、今年度、大紀町漁業活性化プロジェクトをつくってもらいました。ブリやタイの養殖を頑張って、将来的には海外にも輸出していくことを目標にいただいています。

この前、6月に、私、中国に行ってきたんですが、ブリが人気です。中華圏には今はシンガポールのブリを出しているんですが、中華料理を食べる人はああいう脂身のある白身魚が好きなんですね。なので、ブリはすごい人気です。中国で食べたブリが、味付けはすごく辛かったんですが、でも、脂ののった白身魚が好きです。あと、ブリというと、日本では富山の氷見のブリが有名ですが、大紀町のブリは氷見のブリよりちょっと遅いんですね。春ぐらいなので、向こうのブリの出荷が終わってから出荷できるので、有名な氷見と違う時季に出せるという強みがこの大紀町のブリにはあります。今、ブリの輸出については、県もいろいろルートをつくったり、香港などの店で売ったりしていますので、この大紀町のブリもいろんなところに売っていけるように、県としても努力をしていきたいと思います。で、そういう養殖の人たちが漁船にエンジンを付けたりする、そういう積極的な取組も大紀町ではいただいております。

また、イセエビの漁場整備も、25年度から町にも負担していただいて錦で進めてきましたが、今年度、完成しました。

それから、今、大紀町さんで力を入れていただいているのが民宿とか、自然体験。大紀町地域活性化協議会の皆さんが力を入れてやってくれているんです。それでいろんな人を呼んできて、場合によってはそこに定住してもらおうとか、あるいは、お客さんに定期的に来てもらおうとか。今は、観光スポットに行くだけではなく、そういう体験してみよう。うちも長男が4歳で下が今6カ月ですが、文部科学省の関係団体のこういう調査があるんです。子どものときに自然体験をたくさんしたり海や川でいっぱい遊んだり星をいっぱい見たりする経験をした子どもほど、大人になってから、物事を最後までやり遂げたいとか、もっと深く学んでみたいというふうに答える率が高いんです。子どものときにそういう自然体験などをさせてあげる。これはもう世の中にオープンになってるデータですので、僕らと同じ世代の都会の親御さんたちはそれをよく知っていますから、なるべく自然体験に行かせたいと思っているわけです。

そういうのを取り込んでいこうというのを、今、大紀町の地域活性化協議会の皆さんがやっていただいておりますので、皆さんも協力していただいて、これからたくさんの自然体験、この大紀町のすばらしい自然を感じてもらいに来てもらえたらと思います。

それから、子どもと高齢者のところですが、これはもう今、町長から詳しく説明していただきました。県内でも圧倒的に充実した手当のあるこの

大紀町だと思えます。

私は、国の少子化対策のメンバーもやらせてもらっていますが、第一子が生まれるときは仕事と子育てを両立できるかどうかというのが大事な要因で、第二子が生まれるときはパートナー、御主人がちゃんと育児を手伝ってくれるかということが大事で、第三子以降はやっぱり経済的な理由が大事というのが、これは世界共通のことになっています。なので、特に第三子以降のところ、今町長おっしゃっていただいたようなエンゼル手当、30万、50万、100万、こういうのが、本当に子育てをしていこう、子どもを産むことを希望しようという意欲を高める政策になっていると思えます。ここまでやっているのは県の中でもなかなかないですが、非常に素晴らしいことだと思えます。

それから、不妊治療のところですが、三重県は、男性の不妊治療というのを全国で一番最初に始めまして、今、それが国の制度になりました。不妊の原因の48%は男性にあります。でも、全国的には、三重県でもそうですけど、不妊治療に行くのは女性ばかりです。学校でも不妊ということはちゃんと教えられません。そういう医学的知識をちゃんと知ってもらうということが大事なので、子どものときからそういうライフプラン教育というのを今、三重県でもやらせていただいております。この不妊治療で保険適用にならないところは全部、補助金が出るように三重県はなっていました、そういう保険適用以外のところを全部、補助金対象にしているのは、全国的にも珍しいです。そういう形で、やっぱり希望する人たちの願いをかなえていこうというようなことです。

それから、高齢者の皆さんに関しては、来年の4月1日から介護予防日常生活支援総合事業という、介護の予防のための訪問介護や通所介護のサービスの事業を大紀町でもやっていただきますし、生活支援コーディネーターというので、高齢者の買い物や見守りなど生活支援のサービスの創出やマッチングを行うコーディネーターの三重県の養成研修にも、去年から、大紀町さんは参加してもらって、そういう体制整備を現在進めていただいているところです。

三重県では、これから、さらに認知症の対応についてしっかりやっていこうと思っています。今現在、三重県で認知症を発症している人は7万人います。これが、2025年には10万人になるといわれています。また、1人で住んでいる高齢者世帯というのはすごく多くなっていますし、その7割が女性です。認知症を発症している方も多いです。なので、今、認知症初期集中支援チームといって、医者や看護師や介護福祉士など福祉関係者、そういういろんな職種の人たちが、認知症の最初のときに集中的に応援していこうというチームを各市町で設置しなければならないことになってい

るんですが、この設置率が全国で一番なんです、三重県は。若年性認知症のコーディネーターを置いたのも、全国で2番目に三重県は置いていますので、認知症の取組については、三重県は結構進んでいるところがあります。この10月に認知症サミットを四日市でやったものですから、これから、さらに認知症の取組をしっかりとやっていきたいと思います。

この認知症は、とにかく早期発見、早く発見をして早期に対応していく。私も亡くなったお祖母ちゃんが最期認知症になっていましたので、家族も本当に大変な思いをしますから、そういう家族の皆さんの支援、そういう地域づくりをやっていこうということで頑張っていきたいと思います。

最後に、防災は、先ほど町長から言っていただきましたように、全国知事会の危機管理・防災特別委員長というのになりましたので、全国の災害の、もちろん三重県についてもやりますが、全国の対応、直近では2日前に防災担当大臣の松本さんに、鳥取の中部地震の支援をしてほしいと。鳥取は、中部の真ん中の倉吉市というところを中心に被害が出ているんですが、米子や鳥取、そういうところまで観光のキャンセルが出ていて、13,000泊のキャンセルが出ていて、今日もニュースに出ていましたが、カニがおとといに解禁になったばかりで松葉ガニが1杯130万円と出ていましたが、これからカニのシーズンで、鳥取の観光客の入込みのかき入れどきなのに人が行っていないので、そういうのを応援してくださいと、大臣にお願いしてきました。なので、全国中のそういう災害の対応もしつつなんです、それなのに自分の足元の三重県のところでちゃんと防災対策ができていなかったら、全国知事会で僕が言うことも説得力がありませんので、これから、より一層、大紀町の皆さんとも連携して、防災対策をしっかりと取り組んでいきたいと思います。

以上です。

大紀町長

何にしても、現在のほうも、錦の県営漁港で三種漁港というんです。錦と和具と波切の大王崎、3つで。知事が管理者です。そういうことで、錦も今、西防波堤が230メートル仕上げていただいています。全部、国から金を取ってきてくれて、言葉悪いけど。知事のほうの責任、県の部分でやっていただいて。これからもどんどんと。防災委員長になったし。鳥取も行かんらんし、三陸沖も、あちこち行かんらんやろけど、熊本にも行かんらんけども、大紀町も、かぎ括弧点々でよろしいです、よろしくお願いします。

今日は、本当にありがとうございました。

(3) 閉 会

知 事

今日は、皆さん、早朝から会場いっぱいたくさんお集まりいただきまして、本当にありがとうございました。また、町長も本当にありがとうございました。

さっき言い忘れたんですが、大紀町でも町長も熊本に、発生後、早速行っていただいて、職員も5月6月と派遣をしていただきました。そういうふうに相互に応援し合うということは大事ですし、町長はこういう感じで人のことをやってあげていることをあまり言いませんのであれですけども、本当に我々県としても助かっております。僕らだけでできないところを、町同士で仲間で支え合ってもらおうというのをリーダーシップをとって町長にやってもらっていますので、ぜひ、これからも喜寿を迎えられても、ますますお元気に、そして、また御指導いただければと思いますので、どうぞよろしくお願いします。

今日は、皆さん、ありがとうございました。